

VI 標準化会議の事業報告

1. 概要

標準化会議は、会員ニーズに基づく積極的な規格原案作成活動を進めた。国内標準化活動では、JIS 3規格の改正作業を行い、2規格が発行された。JSMA規格も例年並みに制定・改正作業を進め2規格が発行できた。国際標準化活動では11月に第13回ISO/TC227ばね国際会議をタイ、バンコクにて開催した。Pメンバ12ヶ国中(会議当時。現在のPメンバは11ヶ国)、7ヶ国34名が参加した。日本から提案した「皿ばね第2部:技術仕様」は2回目のFDIS投票を行うこととなり、現在投票中である。ドイツ提案のばね試験法は開発作業が始まり、順調に進んでいる。

2. 標準化会議の開催

会議	日程・場所	主な議案
第1回 標準化会議	平成29年6月2日 機械振興会館(東京)	1. 国内各規格開発(JIS、JASO及びJSMA)活動内容審議 2. ISO/TC227ばね活動報告及び審議
第2回 標準化会議	平成29年10月17日 機械振興会館(東京)	1. 国内各規格開発(JIS、JASO及びJSMA)活動内容審議 2. ISO/TC227ばね活動報告及び審議
第3回 標準化会議	平成30年2月20日 機械振興会館(東京)	1. 国内各規格開発(JIS、JASO及びJSMA)活動内容審議 2. ISO/TC227ばね活動報告及び審議 3. 今年度活動の総括と来年度活動計画審議

3. 活動の詳細

(1) 国内規格関係

① JIS 規格関係

3規格の改正原案作成を進めた。B2704-1「コイルばね-第1部:基本計算方法」及びB2704-2「コイルばね-第2部:仕様の表し方」は3月20日に改正発行された。また、B1251「ばね座金」は2017年10月に改正原案を日本規格協会に提出し、2018年3月1日に申出が行われた。現在は審査待ちである。

線材製品協会からの要請により、当工業会から3名の委員が就任し、2016年12月よりG3521「硬鋼線」の改正原案作成を進めてきたが、2018年2月20日に改正発行された。

② JASO 規格関係

自動車技術会規格委員会要素部会の活動に参加し、小改正作業及び分科会活動等を進めた。なお、平成30年度にホースクランプ分科会が設置され、F204「自動車部品-ばね式ホースクランプ」、F207「自動車部-ウォーム式ホースクランプ」、及びF209「自動車部-ホースクランプ」の改正作業が開始される。当工業会から4社が参画予定である。

③ JSMA 規格関係

6規格の制定・改正原案作成作業を進めた。9月にSC012「薄板ばねの試験基準」の1規格が発行された。また、3月にSA010「重ね板ばね」、SB001-1「冷間成形コイルばね-第1部:基本計算方法」、SB001-2「冷間成形コイルばね-第2部:仕様の表し方」、SC004「波形座金」及びSC011「薄板ばねの遅れ破壊防止方法」の5規格を改正発行した。

(2) ISO 規格関係

第13回バンコク国際会議

日本からは相羽国際幹事以下8名が出席した。11月16日、17日の2日間開催され、1日目はワーキンググループ会議、2日目は本会議が行われた。日本提案の皿ばね第2部は、FDIS投票で出たコメントの審議を行い、2回目のFDIS投票にかけることとなった。現在は投票中である。

ドイツ提案のばね試験法は、バンコク会議で審議したコメントを織り込んだ修正WDドラフトが展開され、提出するコメントを準備中である。続いて7月頃にはCD投票が実施される予定である。CD投票の際は、再度日本の考えを反映させたわかりやすい規格となるようなコメント提出を考えている。

平成30年度の第14回国際会議は、9月にドイツ(開催都市はベルリン)で実施することを決議した。

この活動には、政府制度の国際標準開発事業のツールを活用し、経済産業省、株式会社三菱総合研究所の支援をいただきながら実施した。